

米山地域開校準備委員会 校章・校歌参考資料

1 米山地域の小中学校の校章

校名	米岡小学校	中津山小学校	米山東小学校	米山中学校
校章				
備考	<p>白石家の居城である鶴ヶ城があった古館廻りに立地することから鶴の意匠を用いた。 鶴は長寿を表すことから、児童の心身の健やかな成長と、大志をいだき未来にたくましく飛翔することを願って翼を広げた様とした。 (昭和 3 年制定)</p>	<p>中央に平和を表す鳩をデザイン。校庭に桜の大木がたくさんあったことから、桜の花びらを鳩の周りに配した。 (昭和 32 年制定)</p>	<p>米山東小学校の校木は、「ひいらぎ」。 ひいらぎの幹は堅く、なおかつしなやかであり、衝撃などに対しても強靱な耐久性をもっているという特長がある。 新しい時代に生きる子どもたちには、どんな時でも、たくましく生きる心と柔軟に対応できるしなやかな心が必要である。 知・徳・体において、バランスよく、たくましく、そしてしなやかに成長していくことを願って、ひいらぎをモチーフに校章が作られた。 (平成 21 年制定)</p>	<p>旧吉田・米山両校の校章から、雪の結晶と稲穂とを組み合わせ、米の文字を表し、中央に山中を配して、統合中学校の歴史と米作地帯の地域性をあらわし、町 1 校の将来を祝福したものである。 (昭和 39 年制定)</p>

2 米山地域の小中学校の校歌

米岡小学校	中津山小学校	米山東小学校	米山中学校
<p>米岡小学校校歌（昭和 31 年） 作詞 菊地 新 作曲 海老名 仁平</p> <p>一 ばら色の朝だ 光だ 箕岳の かがやく空に 限りない のぞみをかけて 学びゆく われら 米岡の光のこども</p> <p>二 まなびやのはなよ みどりよ しらくもに こだまをよんで わきおこる うたごえきよく はげみゆく われら 米岡の光のこども</p> <p>三 風ひかる大地 はるかに 迫川 世界の海へ もろともに 理想も高く のびてゆく われら 米岡の光のこども</p>	<p>中津山小学校校歌（昭和 32 年） 作詞 橋浦 兵一 作曲 福井 文彦</p> <p>一 木立若やぐ 丘の道 迫の流れ めぐらして 水青く かおる花 希望は 光る わが学び舎は 中津山 中津山</p> <p>二 深山はるかに とばり雲 朝空通う 風清く 日和鳥 こだまして 生命は 光る わが学び舎は 中津山 中津山 ラララララ ラララララ ランランラン ランランラン ララランランランランララン</p> <p>三 廣野ゆたかな 故里の あゆみの跡の かがやかに 鳴る穂波 みのる知恵 力は 光る わが学び舎は 中津山 中津山</p>	<p>米山東小学校校歌（平成 21 年） 作詞 堀 あかね 作曲 大森 一夫</p> <p>一 山並はるか 空高く 桜花にそよぐ 風香る 我がふるさとの 恵みこそ 豊かな心 育まん いま学舎は 輝けり</p> <p>二 伝統深く 胸に抱き 新たな歴史 築きゆく 我がふるさとの 米山に たゆまぬ思い 誓う時 この学舎に 栄えあり</p> <p>三 明るく強く健やかに 未来の夢を 語り合う 我がふるさとに 躍動の 希望に集う 瞳たち 我が学舎に 誇りあり</p>	<p>米山中学校校歌（昭和 40 年） 作詞 木俣 修 作曲 福井 文彦</p> <p>一 みちのくに 春はかえりて 迫川 水は温む 高いираか かがやくところ わが中学の 窓は明る 知性ゆたかに はつらつと はつらつと 学べすがしき 眉あげて 眉あげて ひびけよ わが声 わが命 ああ われらわれらわれら 米山中学校</p> <p>二 栗駒の 山の朝夕 夏はいま 雲に光る 青田嵐 にほえるあたり わが中学の 鐘は鳴れり 胸をはりつつ 堂々と 堂々と 磨け日に日に たくましく たくましく 徹れよ わが夢 わが願い ああ われらわれらわれら 米山中学校</p> <p>三 八束穂の みのり収めて すみわたる 登米の廣野 凜々とせまる み冬もなにぞ わが中学の 意気はあがる 品位たもちて それぞれに それぞれに 思へ未来に 負う使命 負う使命 幸へ わが町 わが郷土 ああ われらわれらわれら 米山中学校</p>